(東京	令和 年 月 日	法 人 番 号 申告年月日 : 年 月 日
中春 年日 100		
第四十四年 19 19 19 19 19 19 19 1		
A	の場合は本店	兆 十億 百万 千 円
	(1811)	
A	法 人 名	益田十田左の次十人の毎日7 8
************************************	(ふりがな) (ふりがな)	
◆和 年 月 目から参加 年 月 日までの事業 年度 分の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		前期末現在の
# 第 平 来 年 度 の 平 来 秘 額 (回の金額)		
# 第 平 来 年 度 の 平 来 秘 額 (回の金額)	令和	^{県民税} 税の予定申告書 [※] 税の予定申告書
	事業税	道府県民税
所 特 初 額 (②× 南平東年度の月数)		
付 加 価 値 割 額 (②× 亩田東全田の月数) ②	所 得 割 額 (⑫× <u>6</u> 前事業年度の月数) ② 00	
姿 本 割 額 (金× 面甲架生炭の月数) ② 00 ① × 両車のであった ② 0 0 ○の申請は申請も場合は ③ 0 ○の申請は上り締付 ○ のの申請は上り締付 ○ ○の申請は上り締付 ○ ○の申請は上り締付 ○ ○ ○の申請は上り締付 ○ ○ ○の申請は上り締付 ○ ○ ○ ○の申請は上り締付 ○		予定申告税額
収入 割 額 (②× 亩平変年度の月数) ②	x + y + y = 0	(①× 6 (① × 6 (②) (②) (②) (②) (②) (②) (②) (③) (③) (③) (③) (③) (③) (④) (⊕
	6	= 2
1	特事 关束要左连の性団法 東要移 第(6) 20	
ア	法	この申告により納付
1	八九	
1	この申告が修正申告である場合は既に納付の確定した ② 00	
前事業年度の事業税額 特別法人事業税額の明細	この申告により納付すべき事業税額及び 😡 😭	算定期間中において 5
所 所 保 課 税 標 機 機 機 機 機 機 機 機 機	19 70 EX 7.5 % DE EX	T
10 10 10 10 10 10 10 10	松步	$\mathbb{H} \times \frac{\mathbb{S}}{12} \mathbb{S} $
所 侍 金 額 ②	1	
(1) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本		┩ すべき道府県民税額 │⑦ │
付加価値額総額 ②		4+6
(特別控除取反稅網等) (77 付加価値額総額 ③ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	JL
資本金等の額額 ③ **** ****** ***** ***** ***** <td< td=""><td></td><td>(特別控除取戻税額等)</td></td<>		(特別控除取戻税額等)
割 資本金等の額 ② 法 人 税 割 額 ③ 法 人 税 割 額 ③ 法 人 税 割 額 ③ 取 入 金 額 総 ⑥ 本 + + + + + + + + + + + + + + + + + +		
収入金額・銀回 10 10 10 10 10 10 10 1	割 資本金等の額 図 ポーキ 円	法 人 税 割 額 ⑨ _ _ _ _
型	収収入金額総額③	寄附金税額控除額 201
会計事業税額 30+30+30+30+30 (3)	割 収 入 金 額 36	税額控除超過額(1)
事業税の特定寄附金税額控除額 (吸養経理に基づく事業税額の控除額) (収養経理に基づく法人税割額の控除額) (収養経理に基づく法人税割額の控除額) (収養経理に基づく法人税割額の控除額) (収養経理に基づく法人税割額の控除額) (収養経理に基づく法人税割額の控除額) (収入割組入税割額の控除額) (収入割額の控除額) (収入割額の控除額) (収入割額の控除額) (収入割額の控除額) (収入割額の控除額) (収入割額の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の	合 計 事 業 税 額 ③0+②+③0+③5 ⑤	外国関係会社等に係る控除対象
仮装経理に基づく法人 (4)	事業税の特定寄附金税額控除額 ⑧	外国の法人税等の
租税条約の実施に係る事業税額の控除額 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	仮装経理に基づく事業税額の控除額 ③	仮装経理に基づく法人
納付すべき事業税額 ③一③一④ ④	租税条約の実施に係る事業税額の控除額 ⑩	租税条約の実施に係る 日 日 日 日 日 日 日 日 日
(F) 所得割 (2) ** + ** + ** + ** + ** + ** + ** + **		納付すべき法人税割額
大		切一切一切一切一切一切
The part of th		差引法人税割額
(計画 安 170	Make	(6 - (1) - (7) 9
収入割に係る特別法人事業税額 ①	1	を受けようとする税額 🍟 🚬 👢 👢 👢 👢 👢
合計特別法人事業税額(⑩+⑪) ⑩ 仮装経理に基づく特別法人事業税額の控除額 ⑪ 租税条約の実施に係る特別法人事業税額の控除額 ⑩ 納付すべき特別法人事業税額 ⑱ 切り間 □ ・ □	<u> </u>	この申告の期間
仮装経理に基づく特別法人事業税額の控除額 倒 通算親法人の事業年度 の期間 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
租税条約の実施に係る特別法人事業税額の控除額 ⑤		前事業年度の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
租税条約の実施に係る特別法人事業税額の控除額 ⑤ の期間 納付すべき特別法人事業税額 ⑥ ⑤ □ 関与税理士 □		通算親法人の事業年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	租税条約の実施に係る特別法人事業税額の控除額 🚳	
	納付すべき特別法人事業税額 ⑱-⑲-⑩ 切 切	
備考 (電話)	備考	署 名 (電話)